



第92回日本内分泌学会学術総会 モーニングセミナー1

グルカゴン測定の意義と 新しいグルカゴン・バイオロジー

グルカゴンの生理作用として糖代謝制御以上にアミノ酸代謝制御が重要であることを示すデータが集積してきた。グルカゴン作用不全においては血糖値の低下よりも血中アミノ酸濃度の上昇が、生体に対してより大きなインパクトを与える可能性がある。一方、低糖質ダイエットなどによるタンパク質摂取の増加はグルカゴン分泌を促進する可能性があり、今後グルカゴン測定の重要性はさらに増していくであろう。

座長

和歌山県立医科大学 内科学第一講座

教授 **赤水 尚史** 先生

演者

名古屋大学環境医学研究所 内分泌代謝分野

教授 **林 良敬** 先生

日時

2019年**5月11**日(土) **7:45~8:45**

会場

第**5**会場

仙台国際センター 会議棟2F「桜2」

共催

第92回日本内分泌学会学術総会
株式会社エスアールエル
株式会社コスミックコーポレーション